



Jiro FUJIWARA

子供のときから家の弱い光を覗き暗闇が夜を包んだ。

朝の光線が窓の格子から刺し込み、それが光と影を生んだ。

藤原氏は音楽的な陰影を感じ、写真を通して表現している。

藤原氏は谷崎の陰影礼賛を読んで写真家になることを決意したと言う。

藤原氏は弱い光が生き物のグラデーションを強調することを知っている。

例えば歌舞伎の化粧（お白い）や円山応挙の屏風というように。

彼はカメラを通して絵を描くようにまたは詩を書くようにそのニュアンスをキャッチする。

彼の生まれた地方の景色をご覧ください。

兵庫の北部、陰影を知っている地方の人々の日常生活の跡とともに四季の風景をご覧ください。

日本を深く知るため彼のサイトで多くの他の写真を見ることができます。

Wattention フランス版 翻訳



## フォトコンテスト審査員

# 藤原次郎

## 映像作家

### プロフィール

1955年7月 兵庫県和田山町（現朝来市）生まれ。  
兵庫県立生野高等学校、大阪芸術大学映像計画学科卒業

2011年 会社組織から離脱し、映像作品創作活動を本格的に開始

- 兵庫県立但馬技術大学校情報工学科非常勤講師
- 公益社団法人 映像文化製作者連盟
- 但馬鉄道模型 club 名誉顧問

### 受賞歴等

2013年 「ある建築の情景 兵庫県木の殿堂」  
(後援 安藤忠雄建築研究所/兵庫県但馬県民局)  
ワールドメディアフェスティバル金賞・特別賞  
「城崎スケッチ」(豊岡市)  
ワールドメディアフェスティバル銀賞  
テリーアワード BronzeAward  
「とよおか景観大賞」

2016年 「豊岡絵巻」(豊岡市)  
ワールドメディアフェスティバル金賞  
「豊岡絵巻」(豊岡市)  
公益財団法人 映像文化製作者連盟  
「映文連アワード 2016」部門優秀賞受賞

2018年 「Matsutani Stream in Venice」  
ワールドメディアフェスティバル銀賞  
MI gallery アワード グランプリ

著書 写真集「田平線(でんぺいせん)」北星社 刊

<http://jiro-fujiwara.com/>